



2025年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年8月13日

上場会社名 THEC00株式会社

上場取引所 東

コード番号 4255 URL <https://thecoo.co.jp/>

代表者 （役職名） 代表取締役CEO

（氏名） 平良 真人

問合せ先責任者 （役職名） 取締役

（氏名） 下川 弘樹

（TEL） 03-6420-0145

半期報告書提出予定日 2025年8月13日

配当支払開始予定日

—

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：無（決算説明動画配信予定）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年12月期第2四半期（中間期）の業績（2025年1月1日～2025年6月30日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期中間期	2,199	10.5	24	—	31	—	25	—
2024年12月期中間期	1,991	4.9	△149	—	△151	—	△150	—

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期中間期	12.42	12.34
2024年12月期中間期	△72.27	—

（注）2024年12月期中間期の潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり中間純損失であるため記載しておりません。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年12月期中間期	2,587	392	15.2
2024年12月期	2,670	354	13.3

（参考）自己資本 2025年12月期中間期 392百万円 2024年12月期 354百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年12月期	—	0.00	—	—	—
2025年12月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年12月期の業績予想（2025年1月1日～2025年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,760	9.9	75	—	75	—	60	—	28.74

（注）1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

2. 業績予想の修正につきましては、本日（2025年8月13日）公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年12月期中間期	2,099,605株	2024年12月期	2,081,455株
② 期末自己株式数	2025年12月期中間期	59株	2024年12月期	36株
③ 期中平均株式数（中間期）	2025年12月期中間期	2,087,866株	2024年12月期中間期	2,079,317株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法について）

当社は決算説明動画（録画形式）を当社ウェブサイトにて公開を行う予定です。

また、決算補助説明資料については、事前にTDnet及び当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	5
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(中間損益計算書に関する注記)	7
(中間キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(表示方法の変更)	7
(セグメント情報等の注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当社は「“できっこない”に挑み続ける」ことを掲げ、SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）全盛期の現在、1対Nの時代から大きく変化した、N対Nの潮流をとらえ、Fan（ファン）+Icon（アイコン）（注）を起源とした完全会員制、完全有料制のファンコミュニティプラットフォーム「Fanicon（ファニコン）」を提供するファンビジネスプラットフォーム事業と、祖業であるデジタルマーケティング事業の2つの事業を展開しております。

（注）アーティスト、インフルエンサー、タレント等、ファンコミュニティのオーナーであり、ファンの熱量の対象となるもの

ファンビジネスプラットフォーム事業の市場環境としては、ここ数年、エンターテインメント業界は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、オフラインでの活動を制限されたアーティストやクリエイター等が、新たな活動の場としてオンラインによる活動を求める機会が増加しました。それに呼応するようにデジタル化した配信プラットフォームが多数出現し、アーティストやクリエイター等が、そのプラットフォームを活用し自らの情報発信を一元管理することが可能になりつつあります。加えて、当社が提供するプラットフォーム「Fanicon」が進化することで、アーティストやクリエイターとファンの間のコミュニケーションの促進・発展が進んでいます。その結果、マネタイズの機会が増えたことも影響し、市場成長が継続しております。

当社が想定するファンクラブの市場規模（SAM：Service Available Market）は約1兆6,000億円であり、これは、総務省の「人口推計」と、矢野経済研究所が実施したインターネットアンケート調査「ファンの消費行動」に基づく1人当たりの消費額と潜在層を含めたファン数を基に、当社が想定するファンクラブ市場規模を算定したものであります。

また、デジタルマーケティング事業の市場環境としては、株式会社電通の「2024年日本の広告費」によると、2024年のインターネット広告市場は前年比109.6%の3兆6,517億円と堅調に増加を示しております。この市場の動向から、当社は今後も同市場は堅調に推移すると予想しております。また、サイバー・バズ／デジタルインファクト調べによる「国内インフルエンサーマーケティングの市場規模推計・予測 2022年-2029年」によると、2025年の国内インフルエンサーマーケティング市場は前年比115.7%の995億円が推計されており、2024年は860億円だったことから、ここ数年で大幅に市場規模が拡大しております。

両事業を合わせた市場規模（TAM：Total Addressable Market）は約15兆6,000億円と試算しており、その内訳は、当社想定ファンクラブ市場規模1兆6,000億円（上述）、ライブ・エンターテインメント市場7,100億円（ライブ・エンターテインメント白書より当社推計。ライブ・エンターテインメント市場規模＝音楽コンサートとステージでのパフォーマンスイベントのチケット推計販売額合計と定義）、デジタルコンテンツ市場10兆3,270億円（デジタルコンテンツ協会「デジタルコンテンツ白書2024」2023年度市場規模より当社推計。音楽（音楽ダウンロード、音楽ストリーミング、広告）、映像（動画配信（SVOD）、動画配信（TVOD）、VRビデオ、広告（動画共有サイト等）、ゲーム（コンソールゲーム、PCゲーム（ダウンロード）、モバイルゲーム、VRアプリ、VRゲーム、広告）のデジタルコンテンツ市場の合計と定義）、インターネット広告市場2兆9,611億円（株式会社電通の「2024年日本の広告費」で定義される「インターネット広告媒体費」）となっています。

① ファンビジネスプラットフォーム事業

ファンビジネスプラットフォーム事業は、ファンコミュニティプラットフォーム「Fanicon」の提供及び運営管理を行っております。

「Fanicon」はアイコンとそのファンが集い、アイコンとしての「価値」を提供したいアイコン側のニーズと、アイコンと「つながりたい」というファン側のニーズをマッチングさせるプラットフォームです。また、従来のファンクラブとは異なり、ファンコミュニティのオーナーであるアイコンと、そこに属するファンが共にコミュニティを盛り上げ、共感したファン同士も繋がること可能なネットワーク効果のある、アイコンとファンのためのサービスです。

Faniconの会員（ファン）はすべて有料会員となっており、ファンビジネスプラットフォーム事業の売上高は、会員より受領するサブスクリプションフィーを売上高として計上するストック型のビジネスモデルとなっています。また、昨今はポイント課金型の売上高も伸びており、安定的、継続的な収入が見込まれております。

会員数を安定的に成長させるためには、新規アイコンの獲得が不可欠です。新規アイコンを獲得するための営業活動は専属チームが継続的に実施しておりますが、一部大型アイコンの獲得に関しては、パートナー企業等の協力を得ており、その結果、コミュニティ開設数は堅調に成長を続けております。

また、アイコンの解約率は、アイコンに対する季節や個人イベントに応じた施策の提案やファン体験の価値を高めるカスタマーサクセスの実施により、前事業年度に引き続き低水準で推移しております。

以上の結果、当中間会計期間における当事業の売上高は1,760,529千円（前年同期比20.8%増）、セグメント利益は95,337千円（前年同期はセグメント損失64,640千円）となりました。

② デジタルマーケティング事業

デジタルマーケティング事業においては、従業員の育成に力を入れ、サービスの品質向上を図ることで、既存顧客からの継続発注を確保しています。同時に、マーケティングとインサイドセールスの活動を積極的に展開することで、国内外を問わず新規顧客の獲得も進めており、その結果、案件数の増加を実現しています。

この結果、当中間会計期間において当事業の売上高は439,275千円（前年同期比17.7%減）、セグメント損失は71,319千円（前年同期はセグメント損失84,909千円）となりました。

以上の結果、当中間会計期間の売上高は2,199,804千円（前年同期比10.5%増）、営業利益は24,018千円（前年同期は営業損失149,550千円）、経常利益は31,267千円（前年同期は経常損失151,709千円）、中間純利益は25,923千円（前年同期は中間純損失150,262千円）となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当中間会計期間末における資産は、前事業年度末に比べ83,401千円減少し、2,587,486千円となりました。主な要因は、現金及び預金の減少59,369千円、売掛金の減少61,978千円、無形固定資産が22,322千円増加したことによるものであります。

(負債)

当中間会計期間末における負債は、前事業年度末に比べ121,256千円減少し、2,195,241千円となりました。主な要因は、買掛金の減少98,447千円、未払金が31,138千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当中間会計期間末における純資産は、前事業年度末に比べ37,854千円増加し、392,245千円となりました。主な要因は、中間純利益25,923千円を計上したことによるものであります。

なお、当社は、2025年3月26日開催の第11回定時株主総会の決議に基づき、2025年4月1日付で減資の効力が発生し、資本金の額649,294,800円及び資本準備金の額649,293,850円をそれぞれ減少し、その他資本剰余金に振り替えております。

また、振替後のその他資本剰余金1,353,984,466円を繰越利益剰余金に振り替え、欠損填補に充当しております。

② キャッシュ・フローの状況

当中間会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べ59,379千円減少し、当中間会計期間末は1,521,851千円となりました。

当中間会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は1,216千円（前年同期は82,558千円の支出）となりました。これは主に仕入債務の減少98,447千円、前受金の増加67,812千円、利息の受取額672千円、税引前中間純利益30,980千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は58,480千円（前年同期は46,445千円の支出）となりました。これは主に無形固定資産の取得による支出59,567千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は2,116千円（前年同期は14,468千円の支出）となりました。これは主に、リース債務の返済による支出2,301千円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年2月13日に公表いたしました2025年12月期の業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日（2025年8月13日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年12月31日)	当中間会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,601,232	1,541,863
売掛金	570,988	509,009
商品	231	734
その他	65,076	98,697
貸倒引当金	△1,507	△5,951
流動資産合計	2,236,020	2,144,353
固定資産		
有形固定資産	154,923	140,717
無形固定資産	108,762	131,084
投資その他の資産		
敷金	171,043	171,192
長期未収入金	74,489	74,489
その他	138	138
貸倒引当金	△74,489	△74,489
投資その他の資産合計	171,182	171,330
固定資産合計	434,868	443,132
資産合計	2,670,888	2,587,486
負債の部		
流動負債		
買掛金	858,385	759,938
未払金	156,414	125,275
未払法人税等	17,715	11,651
前受金	1,051,252	1,119,064
賞与引当金	2,977	1,926
株主優待引当金	1,058	933
その他	147,840	95,393
流動負債合計	2,235,643	2,114,183
固定負債		
繰延税金負債	2,382	2,372
資産除去債務	78,471	78,685
固定負債合計	80,853	81,057
負債合計	2,316,497	2,195,241
純資産の部		
株主資本		
資本金	759,294	115,973
資本剰余金	949,106	250,390
利益剰余金	△1,353,984	25,923
自己株式	△26	△42
株主資本合計	354,390	392,245
純資産合計	354,390	392,245
負債純資産合計	2,670,888	2,587,486

(2) 中間損益計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
売上高	1,991,488	2,199,804
売上原価	1,174,647	1,214,541
売上総利益	816,840	985,262
販売費及び一般管理費	966,390	961,244
営業利益又は営業損失(△)	△149,550	24,018
営業外収益		
受取利息	7	794
広告収入	944	118
受取保証料	-	110
雑収入	-	6,050
受取保険金	-	527
為替差益	103	-
その他	944	806
営業外収益合計	2,000	8,407
営業外費用		
支払利息	159	28
為替差損	-	580
営業外支払手数料	2,000	-
雑損失	2,000	550
その他	1	-
営業外費用合計	4,160	1,159
経常利益又は経常損失(△)	△151,709	31,267
特別利益		
固定資産売却益	2,761	-
特別利益合計	2,761	-
特別損失		
固定資産除却損	0	287
特別損失合計	0	287
税引前中間純利益又は税引前中間純損失(△)	△148,948	30,980
法人税、住民税及び事業税	1,351	5,066
法人税等調整額	△36	△9
法人税等合計	1,314	5,056
中間純利益又は中間純損失(△)	△150,262	25,923

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益又は税引前中間純損失(△)	△148,948	30,980
減価償却費	18,740	27,445
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3,580	4,443
株主優待引当金の増減額(△は減少)	-	△125
受取利息	△7	△794
支払利息	159	28
為替差損益(△は益)	-	268
固定資産除却損	0	287
固定資産売却益	△2,761	-
株式報酬費用	-	2,204
売上債権の増減額(△は増加)	65,695	61,978
棚卸資産の増減額(△は増加)	3,002	△503
前払費用の増減額(△は増加)	△28,390	△35,592
仕入債務の増減額(△は減少)	△102,500	△98,447
前受金の増減額(△は減少)	119,678	67,812
未払消費税等の増減額(△は減少)	29,723	△38,835
未払金の増減額(△は減少)	△30,089	△34,708
その他	△427	16,811
小計	△79,708	3,252
利息の受取額	6	672
利息の支払額	△159	△28
法人税等の支払額	△2,697	△2,680
営業活動によるキャッシュ・フロー	△82,558	1,216
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,376	△1,247
無形固定資産の取得による支出	△43,931	△59,567
有形固定資産の売却による収入	-	2,493
定期預金の預入による支出	-	△10
その他	△137	△148
投資活動によるキャッシュ・フロー	△46,445	△58,480
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△12,480	-
リース債務の返済による支出	△2,264	△2,301
自己株式の取得による支出	-	△15
株式の発行による収入	276	201
財務活動によるキャッシュ・フロー	△14,468	△2,116
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△143,472	△59,379
現金及び現金同等物の期首残高	1,508,130	1,581,231
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,364,658	1,521,851

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年3月26日開催の第11回定時株主総会の決議に基づき、2025年4月1日付で減資の効力が発生し、資本金の額649,294,800円及び資本準備金の額649,293,850円をそれぞれ減少し、その他資本剰余金に振り替えております。

また、振替後のその他資本剰余金1,353,984,466円を繰越利益剰余金に振り替え、欠損填補に充当しております。

(中間損益計算書に関する注記)

※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前中間会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
給与手当	416,246千円	355,776千円
減価償却費	18,283 "	17,789 "
貸倒引当金繰入額	△3,580 "	4,443 "
賞与引当金繰入額	2,070 "	1,619 "

(中間キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

※ 現金及び現金同等物の中間期末残高と中間貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前中間会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
現金及び預金	1,374,658千円	1,541,863千円
預入期間が3か月を超える定期預金	△10,000 "	△20,011 "
現金及び現金同等物	1,364,658千円	1,521,851千円

(表示方法の変更)

(中間キャッシュ・フロー計算書)

前中間会計期間において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含めておりました「前払費用の増減額(△は増加)」及び「未払消費税等の増減額(△は減少)」は、金額的重要性が増したため、当中間会計期間において独立掲記しております。この表示方法を反映させるため、前中間会計期間の中間財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前中間会計期間の中間キャッシュ・フロー計算書において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に表示しておりました905千円は、「前払費用の増減額(△は増加)」△28,390千円、「未払消費税等の増減額(△は減少)」29,723千円及び「その他」△427千円として組み替えております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

Ⅰ 前中間会計期間(自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			中間 損益計算書 計上額
	ファンビジネス プラットフォーム 事業	デジタル マーケティング事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	1,457,450	534,038	1,991,488	1,991,488
セグメント間の内部売上高又は 振替高	-	-	-	-
計	1,457,450	534,038	1,991,488	1,991,488
セグメント損失(△)	△64,640	△84,909	△149,550	△149,550

(注) セグメント損失の合計は、中間損益計算書の営業損失と一致しております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当中間会計期間(自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			中間 損益計算書 計上額
	ファンビジネス プラットフォーム 事業	デジタル マーケティング事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	1,760,529	439,275	2,199,804	2,199,804
セグメント間の内部売上高又は 振替高	-	-	-	-
計	1,760,529	439,275	2,199,804	2,199,804
セグメント利益又は損失(△)	95,337	△71,319	24,018	24,018

(注) セグメント利益又は損失の合計は、中間損益計算書の営業利益と一致しております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。